



都道府県記者クラブ配布資料  
岐阜県政記者クラブ加盟社 各位

令和5年12月6日(水)		岐阜県発表資料	
担当課	担当係	担当者	電話番号
観光資源活用課	広域連携係	北村 川崎	内線 3931
			直通 058-272-8396
			FAX 058-278-2674
岐阜関ヶ原古戦場記念館	企画連携係	池戸 小竹	内線 103
			直通 0584-47-6070
			FAX 0584-43-0420

## <岐阜県×神田明神 連携事業第一弾>

おわだ てつお

# 「小和田 哲男 岐阜関ヶ原古戦場記念館長特別講演会」

## (参加者募集)

県では、関ヶ原古戦場と神田明神と様々な歴史的なご縁をきっかけに、中山道が通る岐阜県との繋がりを深めていくことを目的として、本年9月21日、岐阜県と江戸総鎮守「神田明神」が連携事業を展開することを発表しました。

この度、岐阜県と神田明神連携事業第一弾として「小和田 哲男 岐阜関ヶ原古戦場記念館長 特別講演会 in 神田明神」を下記のとおり開催します。

記

- 1 日 時 令和5年12月20日(水) 14:00～15:30 (入場開始13:30)
- 2 場 所 神田明神文化交流館 EDOCCO 地下1階「EDOCCO STUDIO」  
住所 東京都千代田区外神田 2-16-2
- 3 定 員 110名(先着順)
- 4 参 加 料 無料
- 5 演 題 「神田明神がつなぐ関ヶ原の戦いと徳川家康」



小和田 哲男  
岐阜関ヶ原古戦場記念館長

小和田哲男岐阜関ヶ原古戦場記念館長が、関ヶ原の戦いにおいて、会津征伐の中止と西軍との戦いを決めた小山評定後すぐに上方に向かわず江戸にとどまった家康の心境や行動を紐解くとともに、息子の秀忠に中山道の徳川本隊を任せた理由や中山道の軍事的な位置づけなど、中山道でつながる東京と岐阜の縁について、歴史好きだけでなく誰もが楽しめる内容で語ります。

6. 申込方法 神田明神文化交流館 EDOCCO STUDIO イベントページ及び岐阜関ヶ原古戦場記念館のトップページに掲載する申込専用URL又はQR/二次元コードから必要事項を入力し申し込んでください。

・神田明神文化交流館 EDOCCO STUDIO URL : <https://edocco-studio.com/#section3>

・岐阜関ヶ原古戦場記念館 URL : <https://sekigahara.pref.gifu.lg.jp/>

※先着順で定員数に達した時点で受付を締め切らせていただきます。

(受付終了12月19日(火)9:00)

※一度に複数人の申し込みはできませんのでご注意ください。

※本講演に関して、神田明神へのお問い合わせはお控えください。

## 【参考】

### 関ヶ原の戦いと神田明神

戦国時代には太田道灌や北条氏綱などをはじめとする多くの戦国武将が神田明神を崇拝したと言われ、慶長5年（西暦1600年）には、徳川家康公が天下分け目の戦いに臨む際、戦勝のご祈祷を行い、神田祭の9月15日には見事勝利を勝ち取ったことから、元和2年（西暦1616年）、江戸城の表鬼門守護にあたる現在の位置に遷座され、以後、江戸総鎮守として江戸幕府において尊崇されました。



江戸総鎮守 神田明神

### 中山道（旧東山道）<sup>とうきんどう</sup>でつながる岐阜県と神田明神

中山道はその前身を東山道と呼び、整備が順調に進んだ太平洋側の東海道と比べ裏街道的な存在として扱われてきましたが、戦国時代に入り宿駅が街道沿いに設けられ、江戸と京を結ぶ重要な幹線として機能しました。特に岐阜県には、この中山道69宿のうち、東は馬籠宿（中津川市）から西は今須宿（関ヶ原町）まで17宿が整備され、4分の1相当を占める重要な地域でした。また、京から江戸へは公家の姫君が将軍に輿入れするルートとしても頻繁に利用されたことから、別名「姫街道」とも呼ばれています。